

ワンコインクラブ活動 小学校へのお花のお届けと「花の楽しみ方教室」

作成者：ワンコインクラブ 高木 凌介

■ 実施主体

名 称：ワンコインクラブ

代 表 磯村 信夫
副 代 表 守重 知量
実行委員 加藤 幹久
 上杉 圭祐
 井上 武志
 桐生 進
 森谷 克敏
 高木 凌介



H P : <http://www.onecoin-club.jp/index.html>

■ 団体等構成

会員は、花材機器関連、市場関係、生産者、県職員など花き業界関係者で構成している。

■ 取組地域 東京都、神奈川県川崎市、群馬県太田市

■ 概要

ワンコインクラブは、花きを通じて子供達の明るい未来を創出することを目的に花育活動をしている。年会費6000円を会員から集め、その資金で花や資材を購入し活動を行っている。

対象は小学校で、日本の花を多くの人に知ってもらえるように、外国人住民が多く国際化が進んでいる地域から選択し、学校に花育の提案をしている。

対象となった学校には、継続して活動を行っており、最も長い学校では10年、短い学校でも1年。現在も、対象校を増やしている。

■ 取組開始時期・経緯

2006年（平成18年）10月1日にワンコインクラブ設立。

2006年（平成18年）11月に花材の配布を開始。

設立前に花関係者（生産者、市場、仲卸、関連資材商社）で花を通じて子どもたちに教育の機会をつくることのできないかという話合いが設けられた。

その後、その実行機関としてワンコインクラブを設立。

■ 目的（目標）

私たちは、花き業界の仕事に携わるものとして、花（植物）が諸感に作用し、人間の心の深層にも暖かく作用することを知ることになった。長年その恩恵にあずかり、喜びも実感した。そして今、その恩恵を次世代の子供達に伝えていきたいと考えている。

花や緑を通して、こころの豊かさを実感できる機会をつくっていききたいと考えている。

- 活動校：東京都 世田谷区立池ノ上小学校
 世田谷区立代沢小学校
 新宿区立大久保小学校
 新宿区立津久戸小学校
 文京区立湯島小学校
 豊島区立池袋小学校
 群馬県 太田市立中央小学校
 神奈川県 川崎朝鮮初級学校

■ 活動内容

月1回の花のお届け、年に1回程度会員全員参加のアレンジメント教室、花の名前、花にまつわる話、花の扱い方など、花や植物に関する基本的な事を伝えている。

①月1回の花のお届け

学校全クラスに対して、月1回季節の花を届けている。そのうちの指定の小学校では一緒にフラワーアレンジメントを行っている。

②リーフレットの作成

お花のお届けと一緒にその花を紹介するリーフレットを一緒に作成し配布。

③年に1~2回程度、「花の楽しみ方教室」

会員が講師となって参加し、子供達一人一人にフラワーアレンジメントの楽しさを体感してもらう機会をつくっている。

■ 活動を具体的にを行う人員

運営委員会メンバーが上記活動を主に行い、会員への参加も呼び掛けている。



花を紹介する「リーフレット」

【取り組み内容】

- 教 科：生活科
- 所要時間：2時限（90分）花の楽しみ方教室
- 対象場所：小学校
- 指 導 者：講師3名、アシスタント2名

今回はワンコインクラブの活動のうち、お花のお届けと「花の楽しみ方教室」を実施。

■ 資材

- ・ フラワーアレンジメント用容器（プラスチックカップ）
- ・ 吸水性スポンジ
- ・ ハサミ

■ 花材

- ・ バラ（スプレー咲き）
- ・ トルコギキョウ
- ・ ナデシコ（ブレアンサス）
- ・ スターチス
- ・ リンドウ
- ・ ヤブラン など



使用した花材

■ 活動内容（指導内容）

- ①スライド等を使って花材の紹介
- ②花材紹介資料を別途作成して配布する。
- ③指導者によるフラワーアレンジメントの実演
- ④児童によるフラワーアレンジメントの実践

1. 花材の紹介

大型スクリーンを使って花材の紹介。

花材の原産国、属、また花の特徴をクイズ形式で紹介を行った。

クイズ形式にすることによって講師側からの一方的な紹介ではなく、児童も参加し考えながら覚えることができる。

児童も積極的にクイズに参加してくれた。



大型スクリーンを使った花材の紹介

2. 指導者によるフラワーアレンジメントの実演

フラワーアレンジメントを行うにあたって、花材の切り方、花を活ける順番、アレンジメントのコツなどを紹介。花材紹介の復習もしながら行った。



指導者によるフラワーアレンジメントの実演

3. 児童によるフラワーアレンジメントの実践

事前にクラスごとに分けておいた花材を配布した。

担任の先生を中心にアレンジメントを開始。

講師とアシスタントは、いくつかのクラスをまわりながら質問に答え、アドバイスをしながら一緒にアレンジメントを行った。

太田市立中央小学校は毎年、アレンジメント教室を行っているため花材の切り方や吸水性スポンジへの挿し方などうまくできている様子だった。



児童のフラワーアレンジメントの様子

■ 指導のポイント

- ・楽しくフラワーアレンジメントができるようにする。
- ・なるべく多くの花の種類や特徴を覚えてもらえるようにする。
- ・花も生き物であること、大切に扱うことを教える。

■ 児童・生徒に関心を持ってもらえるように工夫している点

- ・リーフレットを作成して、花材を紹介している。
- ・大型スクリーンを使った花材紹介では、クイズ形式を採用している。
- ・フラワーアレンジメント実践の際は、児童に積極的に話しかけて疑問点などを解消できるようにする。
- ・季節ごとに旬の花材を紹介。七夕など季節のイベントがあればそれに沿った花材を使用。
- ・なるべく毎回違った花材を使用。より多くの種類の花に触れる機会を作る。

■ 経費

- ・一単位を500円程度（卸ベース）で行う。
（月1回花のお届けならクラスあたり、年に一回なら個人あたり）

■ これまでの成果（花育を実施したことでどのような効果があったか）

- ・花を大切に扱うようになった。活動開始当初は、花を「もの」として扱って投げたりしてしまうことも見られたが、最近は丁寧に扱っており「生き物」として花への認識が変わってきているように見られる。
- ・家族のコミュニケーションのきっかけにもなっている。
フラワーアレンジメントの作品は、家に持ち帰っているため、母親に褒めてもらったなど会話のきっかけにもなっているようだ。
- ・花に触れる機会の増加。
フラワーアレンジメントをきっかけに花を知ることができる。プレゼントや贈り物として花をあげる子もいた。
- ・継続的に実施をしている学校もあり、最長で活動期間10年ほど続いている。
（既に社会人になっている方もいる）

■ 参加者からの感想（児童、生徒、保護者）

- ・1年に1回の花の楽しみ方教室を心待ちにしている。6年生からは最後の教室になるから残念という声もあった。
- ・作ったフラワーアレンジメントをお母さん、おばあちゃんにあげるととても喜んでくれた。
- ・花に興味を持った。花がキレイ、かわいい、大切にしたいと思うようになった。
- ・次のフラワーアレンジメントの花材が何かとても楽しみにしている。

- ・花から植物に興味ที่広がり、野菜を育てている。
- ・フラワーアレンジメントがとても楽しい。
自分でバランスを考えながら活けるのが楽しい。など

■ 今後の課題

- ・今後も実施する学校を増やしていく。現在は、資金が足りないため、会員を増やす。
関連会社や取引先まで今後も活動の機会をつくって、積極的に活動を紹介し、勧誘を行う。
- ・活動人員の確保。現在、実際に活動している会員が5人と少なく、運営が難しい状況。
活動してくれる会員を増やすために、会員内にも呼びかけを行う。